

既設コンクリート構造物へのプレストレス導入技術 K-PREX工法

NETIS登録番号：CG-200015-A

極東興和株式会社

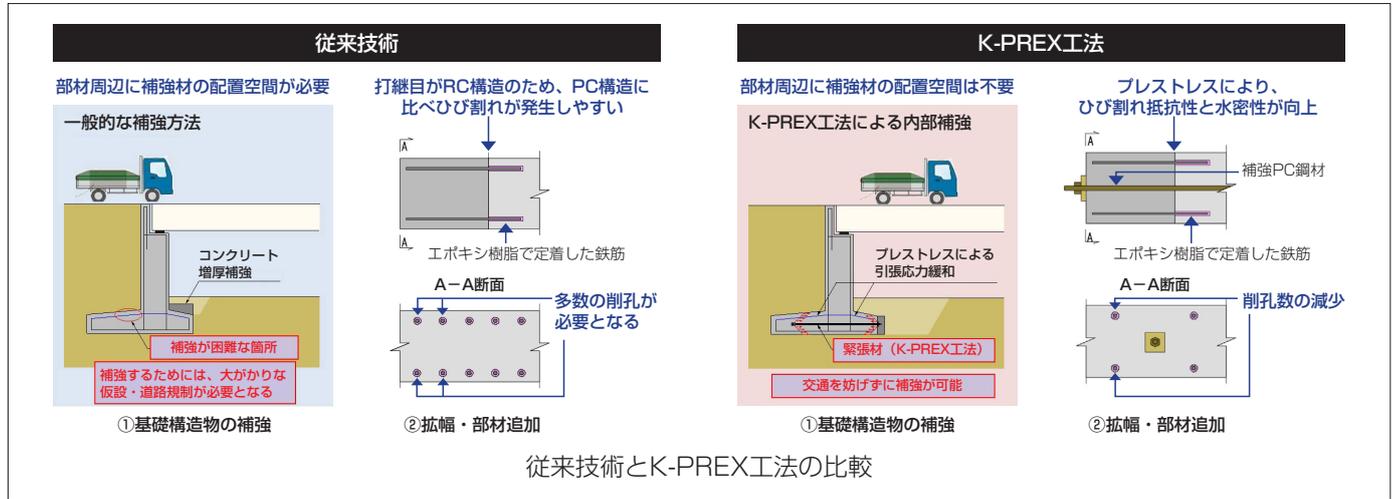
〒732-0052 広島市東区光町2-6-31

TEL 082-261-1207 FAX 082-262-8220

URL https://www.kkn.co.jp/ mail k-prex@kkn.co.jp

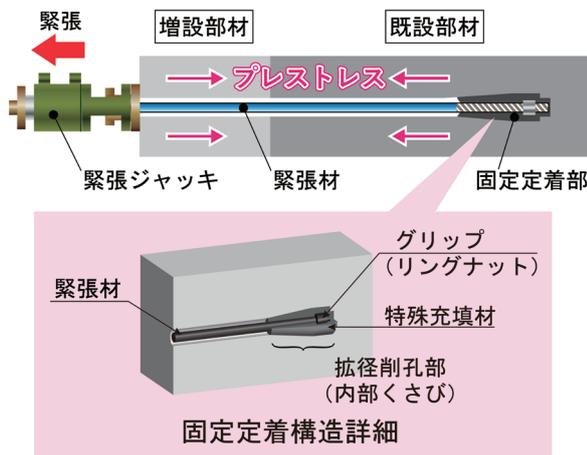
[資料請求先] 技術本部 技術開発部 補修開発課 (TEL.082-261-1204)

[拠点] 東京支店 (TEL.03-6373-3702)、北陸支店 (TEL.025-245-2991)、大阪支店 (TEL.06-6397-0170)、名古屋支店 (TEL.052-201-3431)、広島支店 (TEL.082-261-1201)、四国支店 (TEL.088-883-8144)、福岡支店 (TEL.092-473-7541)



概要

「K-PREX工法」は、既設コンクリート構造物にプレストレスを導入する技術である。本工法では、既設コンクリート構造物部材にコアドリルで削孔した後に、最深部を専用の特殊削孔機で円錐状に拡張削孔を行う。そこに先端にグリップを設けた緊張材を配置し、拡張削孔部の空隙を専用の特殊充填材で満たすことにより、部材内部にくさび状の固定定着部を構築する。これにより、あと施工でプレストレスを導入し、既設部材および増設部材を内部から補強する技術である。



工法概要図

特長

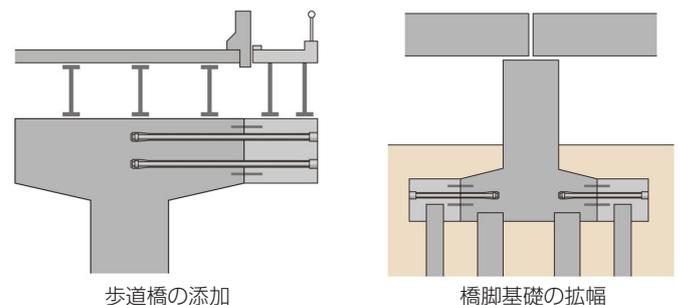
1. 新旧コンクリートの打継目にプレストレスが作用することで、耐荷力の増加が図られ水密性が格段に向上する。
2. プレストレス導入に伴い、樹脂アンカー本数（削孔数）を削減できる。
3. 局部的な作業空間での施工が可能となる（土中・水中部材の補強などで大掛かりな仮設を要する場合には特に有効。道路供用下での部材補強などでは、交通を妨げない箇所からの施工により道路規制を軽減）。

用途

- ・コンクリート構造物の拡幅・部材追加（歩道橋添加、橋台・橋脚基礎拡幅など）
- ・コンクリート構造物の部材補強（ケーソン基礎、フーチングなど）
- ・建築構造物の補修・補強

適用例

●拡幅・部材追加



●内部補強

